

みんな

よくなれ

令和四年九月二十八日発行

29回生通信
第7号

閑谷学校に行ってきました

一組担任 枝澤 由樹 先生

兵庫県赤穂市の西側には、岡山県備前市があります。伝統文化や歴史の遺産が数多く残り、千年の歴史「備前焼」は全国的にも有名です。備前焼は、もはや芸術品で（私はアルバイト先で備前焼を割ってしまい、その意味でも印象が強いです。）、堅くて割れにくいので、庶民に日用品として愛用され、大人気の伝統的工芸品です。また、瀬戸内海や山々など、穏やかな気候と自然に恵まれ、相生市と同様に牡蠣などの海産物も有名です。そして、国道2号線の北5kmには、江戸時代から学びの精神を伝える「閑谷（しずたに）学校」があります。この学校、教育関係者の中ではよく知られた学校です。実は、この8月に初めて訪れました。一度は訪ねてみたかったです。今回はその紹介をしたいと思います。

さて、質問です。日本遺産の第1号を（？）存じですか。（この流れは…）そうですね！それが閑谷学校です。一六七〇年（江戸時代前期、三二年前）に岡山藩主池田光政によって創建された、「現存する世界最古の庶民のための公立学校」です。周囲の環境は、私たちの附属高校とそっくり。光都から直線距離わずか25kmです。

当時のイタリヤ人宣教師は、「一般庶民や労働者でもその社会では驚嘆すべき礼節をもって上品に育てられ、あたかも宮廷の使用人のように見受けられる。この点においては、東洋の他の諸民族のみならず、我等ヨーロッパ人よりも優れている。」と記しました。つまり、当時の日本人が、他の諸外国と比較して、身分や性別を越えて高い読み書き能力を持ち、礼儀正しさを身につけていた様子が分かります。

学ぶ心・礼節を重んじた近世の教育が、近代化の原動力となり、現代にも受け継がれています。近世の日本ではこうした学校と教育の成果によって、世界でも類を見ないほどの高い教育水準を実現し、明治維新以降のいち早い近代化の達成にもつながり、礼節を重んじるという日本人の国民性を形づくってきました。現在、日本人のマナーの良さは世界中で高く評価されています。まさに近世日本の教育は「世界に誇る日本の教育」です。閑谷学校の講堂や校庭を拝見し、こんなにもすぐ近くで、江戸時代から人々がひたむきに学んでいたことに驚きを感じました。

人は何のために学ぶのか。君たちも日々の学校生活で、勉学も、人間力も、当時の生徒に負けないよう、己を磨いてほしい。そのために私たちががんばります。と、8月某日に実感しました。さあ、後期も一緒にがんばろう。



クラスTシャツの紹介

附属高校では、各クラスでオリジナルTシャツを作製しています。クラスメイト全員の名前を入れたり、担任の似顔絵を描いたり、クラスのモットーをあしらったりと、色柄もデザインもさまざまなTシャツを生徒が考案して作ります。作製が早いクラスは、文化祭で着用することもありますし、七月の前期球技大会では、全クラスがクラスTシャツを着て試合に臨みます。クラスのユニフォームのようであり、団結を示すシンボルでもあります。

今号の通信では、各クラスTシャツを紹介いたします。デザインを担当した人に、その意図や工夫したところなども書いてもらいました。

高校での最初の体育大会が十月五日に予定されています。各クラスTシャツをまとおうと、クラス一丸となって、29回生が活躍するのを楽しみにしています。

共に

一組 小林真紀子 さん
駒田 七咲 さん

最初は、なかなか案も出なくて、私たち文化委員だけが必死に考えることになるのかなと思っていたけど、クラスのみんなに分かりやすくアンケートを取ってみたいしたら、どんどん私たち文化委員に、いっしょに考えたいという声もかかってきて、安心しました。三十人いるから、三十通りの意見があつて当然だし、それを反映するのは難しかったです。最終的にみんなが納得する形になったのは分らないけど、文化祭でも、球技大会でも、クラスTシャツを着てくれてるのを見て、私たちがこの仕事を引き受けて良かったなと思えました。一年一組のみんな、協力してくれてありがとう。

これ着て体育大会もがんばろう。



SMILE FACE

二組 緒方 千紗 さん
早川 静香 さん

このクラスTシャツの責任者は私たち二人ですが、放課後に教室に残ったり、クラスLINEで意見を求めた時に積極的にアイデアを出してくれたり、みんなの協力のもとで製作されたTシャツです。私たち一年二組は、授業や休み時間に関わらず、笑顔の絶えない楽しく明るいクラスであることから、「SMILE FACE」というワードが相応しいと思い、取り入れました。Tシャツの素材にもこだわったので、着心地がよく、普段の学校生活でもきているクラスメイトがいます。みんなで作ったものなので、一年間大切にしてくれれば嬉しいです。体育大会ではこれを着て一致団結し、全力で楽しみましょう。



FU - CHAN CLASS

三組 西塚いづみ さん
山本 夏蓮 さん

私たちのクラスTシャツは、背中にみんなの名前、そしてみんなの名前の上にはFU - CHAN CLASSとプリントしました。FU - CHANとは、私たちの大好きな担任の先生である、辻英夕希先生のことです。背中の可愛いクマや胸元のさくらんぼのイラストはクラスで意見を出し合って決めました。球技大会では、このクラスTシャツを着て、一生懸命に頑張りました。クラスTシャツがあるとやる気が出るし、みんなの気持ちが一っになる気がします。体育大会でもFU - CHAN CLASSを背に、みんなで頑張ります。そして優勝します！



ウチらのクラスTシャツが附属で一番良きじゃね

四組 藤田 湧喜 くん
吉田 朱利 さん

おはピーヨー！フジちゃんやシダちゃんです。今日はウチら四組の超イケてるクラス紹介するよー！ウチらのTシャツ、めっちゃ派手なオレンジなんだけど、これってどこにいても秒で分かっちゃう！まじカワイイすぎてもみゆき通もランウェイ気分って感じ。ウチらのこだわりは、ど真ん中の卵パックなんだけど、よく見たら吉峯センターの。マジカワイくない？ イースターエッグにはみんなの希望と夢がまつていってるんだよ。このたまごでゆで卵つくりたいレベル！これ着たらテン上げて、全国優勝できそうW。フジちゃんシダちゃん頑張るからみんな体育大会優勝めざそう。ヨロシクヨロシク！



私とクラスTと副委員長と

五組 安川 弥来 さん

「明日までに、良い感じのクラスTシャツのデザイン描いてきて、副委員長にそう言われた日の夜、私は「良い感じって何やねん！」と叫びながらデザイン案を考えた。本当は、すぐにでも投げ出したかったが、副委員長の指令である。不用意に断ると、いや詳細は言わないで。そうして、私が考えに考えてきたデザイン案は、着心地良し、おしゃれ度良し、お値段良しの正に良い感じのTシャツとなった。手直し、配色決め、注文、集金、すべてこなしてくれた委員長、副委員長、まじ感謝。ちなみに、Tシャツの表には中島紅茶店のロゴが入っているが、裏には五組全員のあだ名が入っている。暇な人は「一年五組言えるかな？」に挑戦してみてほしい。



防災教室出前講座

九月十六日（金）七時間目に防災教育出前講座が行われました。場所は、一組から三組が光都サッカー場の向かいにある兵庫県西播磨広域防災拠点でした。四・五組は附属の体育館でした。この出前講座の開催にあたっては、兵庫県西播磨民局総務企画室総務防災課の長田ひかり様にお世話になりました。また、当日には多数の防災士の方々が指導してくださいました。

体験訓練は、①徒手搬送、②段ボールベッドの作製、③避難所での簡易な間仕切り（PPS）組み立ての三つでした。その中から二つをクラス単位で体験しました。終わりに、防災拠点では一名が、附属体育館では二名が謝辞を担当しました。その謝辞と感想を掲載します。

謝辞 一組 牧 結莉音 さん

今日は、私たちの防災教育出前講座の指導をしていただいたありがとうございます。台風も近づいてきているし、予測できない災害が起きたときも、今日学んだことを活かせるといいなと思いました。

一見、簡易に見えるものでも、協力してみんなで作り上げるのは大変なことだと分かりました。楽しく防災の訓練をすることができました。改めて、今日は、暑くて忙しいなか、お時間をとっていただき、ありがとうございます。

感想（防災教育出前講座を受けて） 同前

すごく暑かったけど、みんな楽しそうに体験ができていて良かったと思いました。徒手搬送や部屋作りのとき、力を合わせて持ち上げたり、柱を支え合ったりする上で、やっぱり人と協力することは大事なんだなと思われました。緊急時となると、あんな布切れ一枚だけを仕切りとして生活しなければならぬ災害は怖いと感じました。いざというときは、今日のことを活かして役に立てたいなと思いました。

謝辞 四組 森 佳月 くん

今回は僕たち29回生のためにこのような講座を開いていただき、ありがとうございます。防災防災とよく聞くことがあったのにあまり内容を深く知らなかったもので、僕たちにとってとても有意義な講座になったと思います。これからは、いつ起こるか分からない災害に向けて、家族で対策を考えていこうと思います。

感想（災害時に備えて） 同前

防災教育出前講座では、災害が起きたときの救助の仕方と段ボールベッドの作成方法について学びました。僕は東京オリンピックの選手村で段ボールベッドが使われていたことがニュースになっていたので、ずつと気になっていました。作るのも片づけるのも簡単で、耐久性も非常に高かったことが印象に残っています。四組のみんなが楽しそうに講座を受けていたことも心に残っています。



陸上部	8月20日～22日	於神戸ユニバー			
・男子4×100mリレー	45秒27	4組大前 響輝	3組小松 暖陽	登	
1走	3走	4組前田 風牙	4組井上 莉緒	緒	
2走	4走	4組吉田 朱利	2組深澤 心愛	優	
・女子4×100mリレー	56秒04	1走	2走	2組正野 心愛	
1走	4走	2走	4走	2組正野 心愛	
・1年女子走り高跳び	2組 18位	・1年男子走り幅跳び	決勝18位	5m90cm	
・1年男子1500m決勝	8位	4分17秒04	4組 藤田 湧喜		
・1年男子5000m決勝	12位	16分21秒23	4組 藤田 湧喜		
・1年男子1000m予選	12秒00	4組 前田 風牙			
・1年男子2000m予選	23秒74	3組 小松 暖陽			
・1年男子4000m予選	53秒65	3組 小松 暖陽			
・1年男子1000m予選	11秒71	4組 井上 陽登			
・1年男子2000m予選	23秒87	4組 井上 陽登			
水泳部	9月14日	於ポーアイスポーツセンター			
・フリーリレー	4×100m	1走	4組藤井 大和	3走	1組加藤 信
2走	2組川江 隼人	4走	2年生		
・50mバタフライ	29秒53	1組 加藤 信			



陸上部と水泳部が、西播予選を勝ち抜いて県大会に出場しました。県大会に出場した29回生と種目を紹介します。 ※敬称略

29回生の活躍 部活動

感想（災害に備える） 同前

講話や訓練を通して、災害時に僕たちができることを具体的に学ぶことができました。それは、ケガ人の運び方、バスタオル等身近なものの活用の仕方、段ボールベッドのこと、助けに行く前に、まず自分の身の安全を確保することなどです。そして「災害が起こった時に一番力になれるのは高校生です。」という言葉がとても印象に残りました。日本は自然災害が多く、学校の辺りでも山崎断層や南海トラフによる災害が起こる可能性があります。その時には、してもらおうのを待たず、今回覚えたことを思い出し、自分にできることを見つけて行動しようと思います。家の防災セットも正直そうと思います。



謝辞 五組 内田 悠仁 くん

私は毎年、東日本大震災や阪神淡路大震災の時期になると、新聞やニュースで当時のことを耳にして、災害について少し知っているつもりでいました。しかし、今日実際にいろいろなことを体験してみても、自分がとても無知だったと思いがちでした。なのでこれからは、防災拠点の場所や危険なところを調べたりするなど、できることから行動していきたいと思っています。本日は本当にありがとうございます。

9月以降の行事予定（1年生関連）

9月	28日（水）	前期終業式
	29日（木）	秋季休業 ～30日（金）
10月	3日（月）	後期始業式
	4日（火）	体育大会予行3・4限 午後放課
	5日（水）	体育大会 午後放課
	6日（木）	体育大会予備日
	17日（月）	第3回定期考査
	20日（木）	考査最終日
	21日（金）	CS コース変更の要項発表 芸術鑑賞 大蔵流狂言
	25日（火）	第3回高大連携授業 28回生研修旅行 宮古島 ～28日まで
	28日（金）	着こなし講座7限
11月	2日（水）	人権ホームルーム
	4日（金）	代休（11/12）
	12日（土）	第2回オープンハイスクール
	18日（金）	防災教育・防災避難訓練4限

受賞の感想 一年五組 竹中 友唯 さん

突然ですがみなさん、みなさんはほぼ関わりのない先生からお呼び出しがかかったらどう思いますか？私はとんでもなく怖かったです。なぜ呼び出しがかかったのか理由がわからないまま、私はどきどきしつつその日を過ごしました。そのため、「読書感想文のこと」と言われた時は喜びよりも「良かった、私にもやらなかったか」という安心感でいっぱいでした。選ばれたのは嬉しかったのですが、事前に何の呼び出しかを伝えておいてほしかったなあ、というのが、一番の感想です。

書名「ブラザーズ・ブラジャー」佐原ゆかり著 河出書房新社刊
感想文タイトル「氷の上の少女たち」



受賞の感想 一年二組 南 翔太 くん

この本を読んでいると、主人公たちの思いや美しい情景描写を通して心が熱くなりました。鳥人間コンテストを題材にした作品なのですが、主人公の空を飛ぶことに対する憧れはとて強く、努力する姿にとても引き込まれました。文章の構成や使う言葉を練ることで、作品の魅力をより伝えられるように気をつけました。

書名「トリガール！」中村航著 角川SSC新書刊
感想文タイトル「大空を飛ぶ」

読書感想文校内表彰

夏休みの宿題に読書感想文があります。日本全国どこの高校も、夏休み定番の課題です。みなさんが提出した感想文の校内選考会が、九月月上旬に行われました。選考会では、最優秀賞と優秀賞がそれぞれ一編と、四編の佳作が決まりました。これら六編の読書感想文は、すべて西播の読書感想文コンクールに出品されます。

29回生からは、二作品が佳作に選ばれました。それぞれの書名と感想文タイトルを紹介し、受賞者の感想を掲載します。